

県政の動き

6月20日(水)～8月20日(月)

★は写真入りで紹介

- 6月30日(土)～7月5日(木)
 - ★第30回竹製品まつり
 - 来春の新規卒業者に係る採用枠拡大のための経済団体等への訪問要請
- 7月6日(金)
- 7月7日(土)
 - 「愛の血液助け合い運動」街頭キャンペーン
- 7月9日(月)
 - ★第28回知事と語る会(霧島市)
- 7月21日(土)～29日(日)
 - 男女共同参画フォーラム
- 7月22日(日)
 - ★第4回関西がごしまファンデーにおける特産品のPR
- 7月24日(火)
 - ★進出企業と知事との意見交換会
- 7月25日(水)
 - 「食と農の指導者研修」公開講座
- 7月27日(金)
 - 鹿児島知財的財産セミナー
- 7月31日(火)
 - ★知事被災地視察(南大隅町・垂水市)
- 7月31日(火)
 - ★第2期がごしま子ども環境大臣任命
- 8月5日(日)
 - がごしまわん・親子・水環境講演会
- 8月7日(火)
 - 福祉・保健医療職場ガイダンス
- 8月9日(木)
 - ★第29回知事と語る会(さつま町)
- 8月10日(金)
 - ★Uターンフェア「がごしま」
 - ◎県内就職合同面接会
- 8月19日(日)
 - ★がごしま都市デザインシンポジウム

6月30日(土)～7月5日(木)

第30回竹製品まつり

「竹の恵みをみなさまに」と題し、第30回竹製品まつりが、山形屋において開催された。

日本一の竹林面積を有する鹿児島県で生産された竹製品・竹炭・竹酢液・たけのご加工品・竹鉢物など約310種類の商品が展示販売された。

今年は竹とんぼなどの竹細工教室のほか、新たに竹炭入り食品の試食販売や県内で制作された伝統的竹工芸品の展示、花と竹炭のコラボレーション教室などのイベントを行い、多くの人でにぎわった。



7月9日(月)・8月9日(木)

第28回知事と語る会(霧島市) 第29回知事と語る会(さつま町)

第28回知事と語る会が霧島市国分シビックセンターで開催され、約100人の方々が参加した。中国からの観光客の誘致や中心市街地の活性化など、さまざまな質問・要望があり、伊藤知事と意見を交換した。知事は語る会にあわせて、霧島市の高精度板金加工やカー用品製造の工場、畜産農家や花き生産団地の状況などを視察した。



しいたけの原木栽培について話を聞く知事。



知事と語る会のようす。

また、さつま町の鶴田中央公民館で開催された第29回知事と語る会では、約300人の方々が参加し、県北部豪雨災害の復旧事業などについて意見が交わされた。知事は語る会にあわせて、さつま町の河川改修事業やいちごの健全苗増殖施設、竹林オーナー制度の状況などを視察した。

7月22日(日)

第4回関西かごしまファンデー における特産品のPR

関西鹿児島県人会総連合会の主催による「第4回関西かごしまファンデー」が大阪市の京セラドーム大阪で開催された。

3万人を超える来場者で熱気あふれる会場では、地元鹿児島を中心に270を超えるブースが出展し、さつま揚げや黒豚、かるかん、漬け物、海産物などを買い求める人たちでにぎわった。

伊藤知事も稲盛和夫総連合会会長と各ブースの出展業者を激励するとともに、焼酎コーナーでは鹿児島焼酎を来場者に振る舞うなど、特産品のPRを行った。



7月24日(火)

進出企業と 知事との意見交換会

本県の産業立地を促進するため、先端技術型企業を中心とする進出企業と知事との意見交換会が開催された。

まず、各企業からの質問・要望についての意見交換が行われた後、本県の立地環境などについてのフリーディスカッションが行われ、参加企業からは、「鹿児島県の人材は、まじめで好感が持てる」、「鹿児島とアジアとの航空路線を充実してほしい」、「県内各地から鹿児島空港へのアクセスを改善してほしい」など、さまざまな意見が寄せられた。



7月31日(火)

知事被災地視察(南大隅町・垂水市)

知事は、7月11日の梅雨前線豪雨や14日大隅半島に上陸した台風4号による大雨や土石流などにより大きな被害を受けた南大隅町、垂水市の災害発生箇所を視察した。

特に被害の大きかった南大隅町浜尻、同町炭屋川(登尾)、同町船石川、垂水市二川の4カ所を視察し、浜尻では被災した住民の復旧への労をねぎらった。また、同町船石川では、大雨などによる山腹崩壊で土石流が発生し、約800m下の国道(269号)まで達した現場で、災害発生や被害の状況、今後の復旧方針などの説明を受けた。



7月31日(火)

第2期 かごしまごども環境大臣任命

環境保全をテーマにした「環境レター」の応募作516通から選ばれた優秀者9人が、「かごしまごども環境大臣」に任命された。

同日開催された「ごども環境大臣サミット」では、これまでの活動を通して感じてきたことや今後の取り組みについて話し合い、「かごしまごども環境宣言2007」をとりまとめ、知事に提出した。宣言文には、ごども環境大臣としての決意や同年代の仲間たちへの環境保全活動の呼びかけ、また、大人や全国、世界中の人々に向けた願いなど、かごしまの素晴らしい自然環境を未来につなげたいという、子どもたちの強いメッセージが盛り込まれた。



また、知事室に入った子どもたちは、少し緊張しながらも地域のゴミの問題や日頃の環境保護の取り組みなどについて、知事に伝えた。今後はそれぞれの地域で環境保全のリーダーとして県のイベントなどに参加していく予定。

8月10日(金)

「Uターンフェア」かごしま & 県内就職合同面接会

県内へのUターン希望者と来春卒業予定の学生を含む県内の求職者を対象とした就職面接会を、かごしま国際ジャングルパークベイサイドガーデンで、鹿児島労働局および県内ハローワークと共同で開催した。

この面接会は、「ふるさとの人材がふるさとで活躍できること」を目的に、平成3年から夏の帰省時期に合わせてお盆前に開催しているもの。当日は、97社の企業と302人の来場者があり、就職面談やハローワークによる職業相談、農林水産業への就労相談などが行われた。



8月19日(日)

かごしま都市デザインシンポジウム

50年後の将来に向けた「かごしまらしい都市景観」を実現していくために、住民、事業者、まちづくり団体、行政が共通のビジョンを持ち、まちづくりに取り組むため、「かごしま都市デザインシンポジウム」を県と鹿児島市の共同で開催した。

基調講演では、東京大学教授で、かごしま都市デザイン会議の委員長を務める西村幸夫さんが「美しい都市をデザインするために」というテーマで講演を行った。

パネルディスカッションでは、かごしま都市デザイン会議の「中間とりまとめ」を受けて、「50年後の鹿児島市の都市景観はこうなるー」をテーマに、美しい都市景観の形成をどのように実現していけばよいか議論がなされた。



便利な香港社会

在香港日本国総領事館 久木田 進



▲これが「オクトパス」。

今回は、香港から、とても便利な「オクトパス」について、ご紹介したいと思います。「オクトパス」とは、香港の公共交通機関などで使用できる、ICチップを搭載したプリペイドカードです。日本の「スイカ(Suica)」と、よく似ています。

この「オクトパス」は、1997年に導入され、公共交通機関のプリペイドカードとしては、世界で最も早く採用されたもので、香港内の鉄道、地下鉄、バス、路面電車などの主要交通機関で使用でき、通常料金よりも割安になるといふメリットもあります。また、電子マネーとしてコンビニエンスストア、スーパー、自動販売機などでも使用できます。現在では、普及が進み、香港のほとんどの人が所有・使用しています。発行枚数も香港の人口(約700万人)を上回る1200万枚となり、完全に香港社会に浸透していると言えると思います。このように、「オクトパス」さえ持っていれば、現金を持ち歩かなくても、大変便利に生活できます。また、「オクトパス」を使用する際にかさず、自動改札機やスパーのレジなどに設置されているセンサー(オクトパス感知器)は、感度が大変よく、厚い財布やカバンの中に入れたままかざしてもちゃんと反応してくれます。この感度の良さには、驚いたものです。香港の人は、みんな「オクトパス」を使用するたびにわざわざ取り出すのではなく、自動改札でも感知器の上にカバンごと載せて、バスしていきます。私も最初は、見様見まねで「オクトパス」の入った財布ごとタッチしましたが、あっさりとはバスできました。大変便利で感激してしまいました。それ以来、「オクトパス」をフル活用し、大活躍といったところです。地下鉄、バスに乗るときなど、軽く財布を「タッチ」すればいいのです。あと、この「オクトパス」のチャージの方法ですが、これも大変お手軽です。コンビニエンスストアなどで簡単にチャージできます。チャージの金額も決まっているわけではなく、自分のチャージしたい金額だけお金を支払えば、すぐにチャージできます。

私は、在香港日本国総領事館に赴任してもう2年が経とうとしており、最近の日本事情にうとくなっております。帰国したら、日本でも「オクトパス」のようなシステムが浸透し、便利な社会になればと期待しているところです。



▲自動販売機でも使用可。

PRESENTS

プレゼントコーナー

「鹿児島県のS物語」

県内各地の“スペシャル”な逸品をプレゼントします。

黒薩摩湯呑(日置南州窯)を抽選で3名様にプレゼント。



400年の伝統をもつ薩摩焼は、「白もん」と呼ばれ象牙色の肌に細かい貫入(ひび)が入り、繊細華麗な錦手や金襷手の上絵、精巧な透彫がほどこされた白薩摩と、「黒もん」と呼ばれ庶民のための生活の器として愛された漆黒の光沢をもち素朴で剛健な温もりを感じさせる黒薩摩があります。

【鹿児島県陶業協同組合】

〒899-3101 日置市日吉町日置5679
TEL 099 (292) 5156 FAX 099 (292) 5191

○応募方法/ハガキ、FAXまたは電子メールに「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号をご記入の上、下記までお送りください。いただいた個人情報は、プレゼントの送付以外の目的には利用しません。

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

○ハガキ宛先/〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県庁広報課「グラフかごしまプレゼント」係

○FAX/099(286)2119

○メールアドレス/h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

【締切】平成19年10月31日(水)必着

鹿児島に全国の伝統的工芸品が勢揃い!! 『全国伝統的工芸品フェスタ』開催! 《平成19年11月8日(木)~11日(日)》



「鹿児島ブランドショップ」(県産業会館1階)



かごしま原木しいたけフェア

平成19年10月中旬

県内の特産品の問い合わせ、ご用命は

鹿児島ブランドショップへ

鹿児島県特産品協会

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1

鹿児島県産業会館内

☎099-225-6120 FAX099-223-0755

店休日 第1・3日曜日 ●営業時間 午前9時~午後6時

東京店 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-6-4

千代田ビル3階 かごしま遊楽館内

☎03-3506-9171 FAX03-3506-9172

ホームページURL <http://www.kagoshima-tokusanhin.or.jp>

